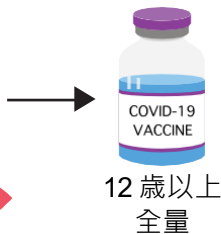




COVID-19 ワクチン接種： 里親と暮らす10代の青少年が知っておくべきこと



どの新型コロナワクチン接種を受けることができますか？

- 12歳以上の方は、以下の初回接種を受けることができます。
 - **Pfizer:** 3～8週間間隔で2回接種、または
 - **Novavax:** 3～8週間間隔で2回接種、または
 - **Moderna:** 4～8週間間隔で2回接種。

また、最後に受けた初回接種またはブースター接種から2か月後に、**最新のPfizerまたはModernaのブースター接種**を受けてください。

- 保険に加入していなくても、ワクチン接種は**無料**で受けることができます。
- ビザ・滞在資格について質問されることはありません。
- このワクチンは、インフルエンザや HPV などの他のワクチンと同時に接種を受けることができます。



COVID-19のワクチン接種を受ける理由

- (ブースター接種を含む) 推奨されているすべての接種を受けることが、**ご自身の身を守る**ための最善の方法です。
- COVID-19に感染した若者の多くは、軽度の症状または無症状です。しかし、**中には重篤な症状になったり**、長期にわたる健康問題を引き起こす人もいます。
- 健康な人でさえ、入院したり、健康上の問題が長期化する場合があります。その可能性がどれくらいあるかは誰にもわかりません。ワクチン接種を受けることにより、そのような問題への**リスクが軽減されます**。



ワクチン接種はどこで受けることができますか？

多くの病院、診療所、学校、または薬局でCOVIDワクチンの接種を受けることができます。

ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated にアクセスして、最寄りの接種会場を見つけることができます。18歳未満の方は、保護者の同意を得る方法を確認してください。ワクチン接種会場を探す、交通手段、または在宅ワクチン接種の依頼についてサポートが必要な場合は、DPHワクチンコールセンター (**1-833-540-0473** または **2-1-1**) に電話してください。



副反応にはどのようなものがありますか？

COVID-19ワクチン接種により、ワクチンを接種した腕の痛み、腫れ、発赤や、吐き気、疲労感、発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などが起こる場合があります。これらの副反応は数日で治まるはずですが、すべての人に副反応が現れるわけではありません。副作用は普通に起こるものであり、免疫システムが**抗体を産生している**ことを示しています。



COVID-19 ワクチンは安全ですか？

はい! 臨床試験により、COVID-19ワクチンは、10代の青少年にとって安全かつ効果的であることが分かっています。ワクチンは引き続き注意深く監視されています。今日までに、**何億人もの人々**がCOVID-19ワクチンの接種を安全に受けています。ワクチンから**COVID-19に感染**することはありません。どのワクチンもCOVID-19の原因となるウイルスを含んでいません。

稀ではありますが、COVID-19ワクチンを含むあらゆるワクチン接種後に重度のアレルギー反応（アナフィラキシー）が起こる場合があります。少数ではありますが、特に12歳～39歳の男性が、COVID-19ワクチン接種後に心臓の炎症（心筋炎および/または心膜炎）を発症しています。これを発症することは稀であり、ほとんどの場合は軽症で、治療と休息により改善します。COVID-19に感染すると、心筋炎やその他の心臓疾患のリスクははるかに高くなります。（8週間後に）2回目の接種を受けることで、心筋炎のリスクも低下します。

COVID-19ワクチンが10代の青少年の発育や子供を持つ能力に影響を与えるという証拠はありません。

私がワクチン接種を受けることができるかどうかの判断は誰がするのですか？

あなたが18歳以上なら、自分で決めることができます！あなたが17歳未満で、里親ケアを受けている場合、あなたが同意する場合に限り、里親、親戚の保護者、またはグループホームのスタッフが同意書を提供することができます。詳細については、児童法律センター(323-980-7700)の弁護士にお問い合わせください。

15歳以上で自立している10代の青少年（例：独立している、または自身で自身を養っている未成年者、既婚者、結婚経験者）は、自ら同意することができます。そうでなければ、18歳未満の場合、親または法定後見人の同意書が必要です。

ワクチン接種を受けたいのですが、里親が同意しない場合はどうすればよいですか？

里親がワクチン接種に同意しない場合は、弁護士に相談してください。

ワクチン接種を受ける際に、何を持参する必要がありますか？

一部のワクチン接種場所では写真付き身分証明書が必要です。写真付き身分証明書をお持ちでない場合は、弁護士にご相談ください。別の方法として、写真付き身分証明書を必要としないロサンゼルス郡公衆衛生局が運営する接種場所に行くこともできます。

COVID-19ワクチンについて、医師、保護者、またはその他の信頼できる大人に相談してください。ご不明な点があれば、遠慮なく質問しましょう。